

三原再生 = 三本の柱構想

令和6年1月15日

田中裕規

どうする三原！ このままでいいのか？ あきらめるのはやめよう！

1. 市民に寄り添う市政の実現

◎離島と中山間地域を守る

本郷産廃処分場の問題、交通弱者対策、買い物難民対策など、地域住民目線で課題を解決していきます。

◎高齢者や障がい者を支える

健康・交流促進事業、高齢者支援窓口設置、障がい者の自立支援など、生き生きと活躍できるまちを目指します。

◎子育てしやすい環境づくり

給食費無償化やおむつ購入費助成、子育て相談やサポートの充実など、真に役立つ支援を行います。

2. 将来に向けた地域経済活性化の取組

◎雇用を作り出す

帝人跡地や中山間地域への企業誘致を進め、Uターン・Iターン者を増やすとともに、若者が集う起業しやすいまちを目指します。

◎歴史・文化を活用にしたまちづくり

城下町三原の歴史と文化を磨き上げ、三原ならではの魅力を作りあげ、中心市街地等に人を呼び込みます。

◎「瀬戸内ゲートウェイ構想」の実現

湾岸地域を魅力的で人が集う場所に再整備し、空港-駅-港をつないだ瀬戸内の玄関口機能を作ります。

◎農業振興対策

給食材料の契約栽培や、新規就農者支援の強化など、新たなアイデアを取入れ、農業収入の安定化と後継者不足解消に取り組みます。

3. 1円まで無駄にしない市政経営

◎財源捻出対策

市長公用車の廃止等、徹底的な無駄の排除と効率化を進めます。

◎成果の見える化

到達ゴール目標を明確にし、最小の費用で最大の効果が出る市政経営を目指します。

◎市民に開かれた市政

情報公開を進め、市民とともにまちづくりを進めます。